

新ましこ未来計画外部検証委員会（暮らし分野）議事録

日時	平成 29 年 5 月 29 日(月) 19:00～20:45	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	市川委員、上野委員、呉浦委員、高松委員、村田委員
	職員	櫻井民生部長、加藤総務課長、日下田企画課長、仁平環境課長、小堀健康福祉課長、和久高齢者支援課、櫻井生涯学習課長
	事務局	吉永係長、岩崎
配布資料	次第、「現時点での進捗状況」の考え方、成果指標・重要業績評価指標、一部見直しについて、推進状況総括シート、推進シート、事前質問・回答一覧	

発言者	発言要旨
事務局	1. 開会 2. 出席者紹介 3. 配布資料確認 4. 案件 (1) あいさつ・概要説明
民生部長	第4四半期・本年度総括シートにより説明
委員	(2) 施策ごとの検証 OP.21 施策1 選ばれるまちへの転換 外部検証委員からの意見・提言②について「町民活動支援センターについて、ボランティアに関する業務が社会福祉協議会と重複すると考えられることから、福祉センターでの設置及び設置方法について再検討が必要」とあるがその後はいかがか。また、状況に応じ、社会福祉協議会として連携をしていきたいと考えている。
健康福祉課長	町民活動支援センターは、地域創生活動コンテスト等他事業と併せて検討しているところで現在はまだ決まっていないところである。
委員	移住サポートセンターはすでに設置されているのか。
企画課長	4月から企画課付の職員が2名配置されている。現在は、看板は設置していないが、移住に必要な情報の提供をしている。
委員	利用者がわからなければ意味がない。道の駅利用者は多いので、内部に看板やポップ等を設置し、買い物客も気軽に情報に触れるよう活用すべき。
委員	OP.22 施策2 住み続けるまちへの飛躍 子育て応援手当は、今年も継続という事でよいのか。

健康福祉課長	地域通貨で1万円分交付している。今年度も秋ごろに交付する予定である。
委員	地元業者も潤う制度であり、有効な制度であると感じる。何月ごろ交付する予定であるか、受け取り側にも事前に周知すると購入の計画が立てられる。
委員	有効期限が年度末までであったが、どのようになるか。
健康福祉課長	今年度は有効期限が長くなり、3年ほどであったと記憶している。
委員	あまり長くなると使わずに忘れてしまう家庭もあると思うので、早めに設定した方がよい。期限が切れて交換した人もいたようである。地域通貨の使い方に慣れていない方も多いため、有効に使用できるよう配慮すべきである。ほかの自治体では実施していないと聞くが、いかがか。
健康福祉課長	子供一律〇円を交付というのは、あまり事例がないが、入学時など節目時に定額を交付する自治体はある。
委員	子育て支援センター設置が検討されていると聞くが、具体的にはどの程度まで決定しているのか。
健康福祉課長	現在、設計業者が決定したところで、3か月間程度で設計を行う予定である。場所は水戸屋金物屋の空き店舗を利用し、土地は借地となるためそちらの交渉も現在行っているところである。工事期間は4か月間で、保育士等のスタッフや事業内容等も併せて検討しており、年度内に完成する予定で進めている。
委員	土日は休みか。益子は特に雨天時の土日に遊べる場所が不足しているため、屋内で土日に遊べる場所が欲しいという声が多かった経緯がある。
委員	3月にアンケート実施というのは具体的にどのようなアンケートか。
健康福祉課長	土日のオープンは予定している。アンケートについては、保健センターの健診時等で実施し150件程度の回答が得られた。設計内容に関するもので、施設があったらどのようなものがよいか、等の設問で雨の日に遊べる等の回答があった。これらを参考に設計していきたい。
委員	子供や保護者を対象とした多世代、とあるが高齢者はいかがか。
健康福祉課長	多世代で集っていただき、お年寄りから昔遊びを教えてもらう等交流できたらよいと考えているが、具体的にはこれから検討を行う。

委員	○P.23 施策1 豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備 前沢町有林の遊歩道について、利用者数は調査により把握しているか。
環境課長	調査は実施していない。時々利用者から声をかけていただくことはある。植樹した桜はまだ小さいが、新規歩道の設置・間伐などの整備は必要であると考えている。
委員	ハイキングに適した場所であるが、草が生い茂り、現状では歩いて登りたい気持ちにはならない。せつかくなら多くの人に親しんでもらうために現時点から整備を行うべき。また、年に1・2回程度でもボランティアに協力して頂き整備をすると宣伝にも、参加者の健康増進が図れる。
委員	入口に看板がないため、町民でも知らない人が多いと感じている。良い場所ではあるが周知が足りないと思う。
委員	ハイキングで利用できる道は、告知することにより町内外のサークル・団体での利用が可能になると思う。景色がよければ写真や絵で景色の美しさを周知すると良い。
委員	イノシシの目撃情報が星の宮などでもあるが、どのような対策をしているのか。
環境課長	本年度から駆除の補助を開始した。国から一頭8,000円の補助があるが、町からも同額補助することにした。目撃情報が増加しているため狩猟を促進している。実際に捕獲頭数は増加している。
	○P.24 施策2 自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発
委員	薪ストーブはよく見かけるようになったが、ペレットはいかがか。
環境課長	PRが足りないと感じている。昨年度の申請数は2件（ペレット）のみであった。
委員	茂木町でペレット製造を予定していると聞いたが。
環境課長	茂木町が国の補助金を申請していたため、何か連携できないかと茂木町と情報交換を行ったが、ペレットの材料収集に不安があるとのことであった。益子町でも里山整備で間伐材等があり協力も可能であるかもしれないと考えていたが、その後、国の補助金交付は受けられないこととなったとのこと。
委員	太陽光発電の補助が少ないというのは、大体いきわたったということか。
環境課長	近隣の自治体でも補助件数は減少傾向にあり、茂木町と市貝町では補助制度を終了

	している。今年度、さらに減少する傾向であれば蓄電池、エコキュートなどその他の補助に移行することも検討している。
	○P.25 施策3 ごみの資源化・減量化の推進
委員	落葉・草の堆肥化事業で袋を無料配布しているゴミ袋を、将来的には有料化するというのか。
環境課長	有料化を検討している。町内全域に広げたいと考えているが、草刈りをした草などを入れる時期まで施行の予定で考えている。アンケート調査も行っているが、金額は20円程度の回答が多い。
委員	生ゴミ回収の黄色い袋のゴミ量は増加しているのか。分別が面倒で燃えるゴミで出している人も多いと思われる。
環境課長	生ゴミも減少しているが、ゴミ総量も減少している。自家処理が増えていると予想される。
委員	不燃ゴミで回収されずに残されるものがあるが、どこまで細かく分別すればよいのか、疑問を感じている人もいるため、より詳細な説明が必要である。また、小型家電リサイクルの回収ボックスは継続されているか。
環境課長	継続している。また、小型家電の回収も継続している。
委員	ステーションに出しても中身を残されるコンテナがあるが、どうすればよいのか。
環境課長	分からないものは、問い合わせをしていただきたい。毎年のごみ分別カレンダーをさらに詳しくというサイズが大きくなってしまったため、以前発行した冊子の再配布を検討したい。また、資源物は定期回収を毎月第2土曜日午前中に実施しているためお持ちいただきたい。
	○P.26 施策1 運動を通した健康づくりの推進
委員	「健幸」ポイントの趣旨が伝わりにくい。健康よりもポイントをためることが優先のように感じる。
健康福祉課長	引き続き制度について意義を深めていきたい。
委員	町民対象の健康レシピコンテストの実施要綱を6月の食育推進会議において検討する予定である。
委員	冊子で発行されるのか。

健康福祉課長	冊子で発行するかも含めて、どのように推進していくかその会議で検討していく予定。
委員	ある程度の年齢になると生活習慣病が心配。
健康福祉課長	生活習慣病を予防することに力を入れているが、相談や料理教室など人気がある。健康に関する関心が高まっている。
委員	健幸ポイントはどの程度まで決定しているのか。
健康福祉課長	町が開催した事業等に参加するとポイントがもらえる仕組みである。まずは、入会で100ポイント、歩け歩け教室などの教室や健診、健診結果で昨年より改善された場合などでポイントを付与する制度である。健康福祉課だけでなく、自主教室等のサークルの会員になった際にもポイントが付与される。
委員	今後も対象となるイベントを実施していくということによいか。
健康福祉課長	保健センターの運動に関する講座のほか、生涯学習課で行う運動の教室などを対象としていきたいが、どのくらい関心があるか参加者の様子を見ながら検討していきたい。
委員	ポイントがたまるとどのような特典があるか。
健康福祉課長	500ポイントたまると地域通貨と交換できる。
委員	「健幸」という言葉にインパクトがあるため、チラシ等でうまく制度を周知して頂きたい。
委員	○P.27 施策2 食事を通した健康づくりの推進 町民対象の健康レシピコンテストは農政課とも協力して行うという事だが、応募作品を道の駅で町外の方にPRすることにより「選ばれる町」につながるのではないか。
健康福祉課長	益子の食材を使用したものというのが、今年度のコンテストのメインテーマになっている。
委員	グラフによるとメタボは減少しているが、まだまだ悩んでいる人もいるという想定で食生活から改善していくことが必要。レシピでいろいろ考えるもの良いが、一番は「おいしい」ということが重要である。おいしく、健康に良いレシピを期待して

	いる。
	○P.28 施策1 高齢者のいきがいくりの推進と障害者支援の充実
委員	サロンが新たに2カ所増えたのはどこか。
高齢者支援課長	星の宮と内町栗崎の2カ所である。
委員	星の宮はどこで行っているのか。
高齢者支援課長	星の宮公民館で行っている。
委員	田野と七井はどうなっているか。
高齢者支援課長	声掛けをしているところはあるが、まだ動き出していない。
委員	栄養士の仕事で芳賀町から依頼があり、芳賀町は19カ所程度あり雪が降った日もバスで送っていただけるそうで参加者がいたため、支援があるとよい。益子町には全部で何か所あるか。
高齢者支援課長	益子町には5カ所ある。芳賀町のようにバスの運行はしていないが、支援としては、サロンの会というボランティアがサロンを運営していく中で出てくる課題や悩みなどを解決するような支援を地域包括支援センターが行っている。PRとしては、ボランティアの方が様々なところで活動しているときに、サロンの内容を広めるために活動の様子をお話ししていただけるようお願いしている。
	○P.29 施策1 防犯・防災体制、交通安全対策の充実
委員	防犯カメラは益子ではどのくらいの数が設置されているか。
企画課長	屋台パークや益子駅、七井駅など施設のカメラとなる。
委員	都会では犯罪が発生すると、防犯カメラの映像が利用されているが益子はどうか。町で道路には設置しているか。
企画課長	道路には設置していないと思われる。
委員	通学路の点検は年に2回程度交通指導員の私たちも出席しており、薄くなった白線など、危険箇所は改善されており、ありがたい。スクールガードも大変頑張っている。ありがたいが、高齢化もあるため若返りも図りながら実施して頂ければと思う。

委員	スクールガードを健幸ポイントの対象にしたらいかがか。
委員	保健センターで万歩計を貸出ししており、その点も周知するとよいだろう。子どもたちを守りながら自分の健康も守れるということ。
委員	学校側で募集する際にそこも周知すると興味を持っていただける方が増えるかもしれない。
事務局	(3) その他 P.26 指標「18歳以上の運動習慣者」は基準値が未設定であったが、アンケート調査により基準値17.4%で設定する。
委員	修正後の伸び率は毎年2, 3, 3, 2と変化しているが、根拠はあるか。
健康福祉課長	目標は10%増であったが、わかりやすいようきりの良い数値で30%に設定したため、そのような伸び率になっている。
事務局	今後の実績値により指標の上方修正という事もあり得る。
委員	シート内の「議会からの意見提言」という欄には意見が入ってくるのか。
事務局	四半期に一度報告を行い、年に一度総括を議会で行うことになっている。まとめ方は施策ごとになっているため、シートごとには記入されないこととなった。
委員	議会からの意見も気になるため、外部検証委員にも知らせていただきたい。
事務局	議会からの資料は配布するようにしたい。なお、外部検証・意見シートは、2週間程度でご提出をお願いいたします。 5. 閉会

外部検証委員会（暮らし分野）次第

日時 平成 29 年 5 月 29 日（月）午後 7 時から
場所 益子町役場休憩室

1 開会

2 出席者紹介

3 配布資料の確認

4 案件

（1）概要説明（民生部長）

（2）施策ごとの検証

- ・ シート毎ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑
- ・ 地方推進交付金活用事業の実績について（概要説明：事務局、質疑：担当課）

（3）新ましこ未来計画の一部見直しについて（概要説明：事務局、質疑対応：担当課）

（4）その他

5 閉会

配布資料

- 1 本次第
- 2 新ましこ未来計画の一部見直しについて（暮らし分野）

外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後 10 日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新未来計画 事前質問・回答一覧(平成28年度 下半期)

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
1	22	健康福祉課	①子育て支援・育脳プログラム講演会に2回参加し、共感することが多くとても有意義な内容であったが、各回とも参加者が少ないことが残念であった。H29/5/17には駅舎で講演会が開催されるが、今後実施する講演会等により多くの方に参加していただくための周知方法をどのように検討しているのか。 ②子育て支援・育脳プログラムをこれからどのように展開していくのか。	①について 保育園や認定こども園・小学校を通じて保護者へのチラシの配布、自治会回覧、お知らせ版、防災無線、フェイスブック、町内公共施設でのチラシの配布等で周知を行っていく。 ②について 29年度も引き続き育脳プログラムの作成を継続しながら、育脳の啓発・普及のため子育て講座を開催する。育脳プログラム作成後は、乳幼児健診・子育てサロン・子育て講座等で活用、親子でのふれあい遊びや子どものやる気を引き出す声掛け等を紹介していく。

新ましこ未来計画の一部見直しについて（暮らし分野）

初年度である平成28年度分事業を実施し内部検証を行った結果、一部見直しを行うことが適当ではないかと考えます。

については、外部検証委員の皆様のご意見等をお伺いしたいと思います。

1 重要業績評価指標（KPI）について

（1）KPI「18歳以上の運動習慣者の割合」（健康福祉課）

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
修正前	—	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増
修正後	17.4% (実績値)	20.0%	22.0%	25.0%	28.0%	30.0%

①算出の根拠

国・県の目標値を参考とし、現在より10%の増加を目指す。

②見直しの理由

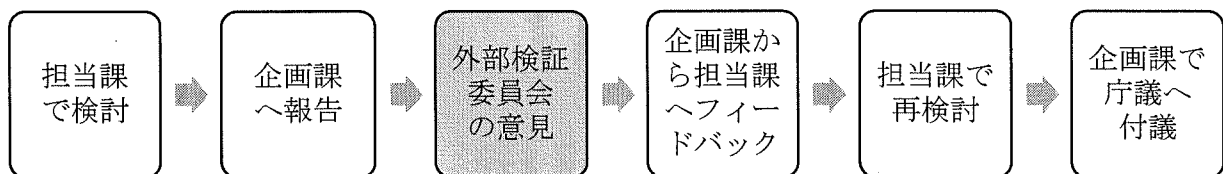
具体的な数値を設定し、より指標の進捗状況を分かりやすくするため。

参考 新未来計画の見直しの手続きについて

1 PDCAについて

別紙をご参照願います。

2 見直しの流れ



第3節 新ましこ未来計画の進捗管理（マネジメント）

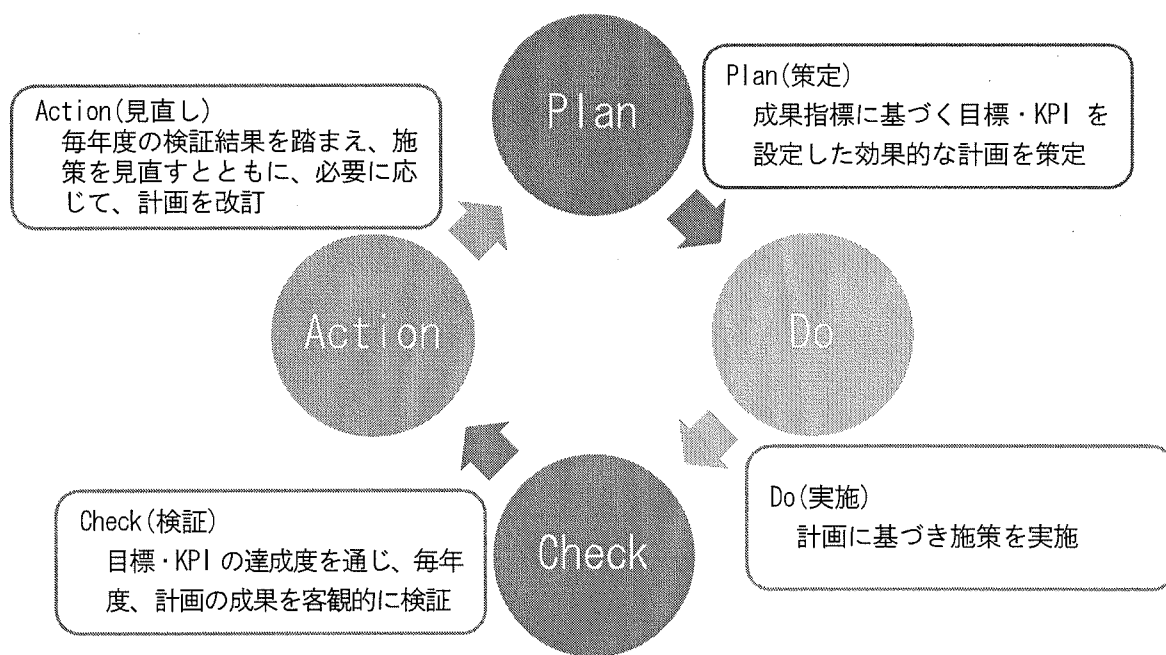
■ PDCA サイクル

本計画は、住民、事業者、地域、団体、議会、行政など町全体で共有し、協働で推進する公共計画として位置づけているため、計画の策定(Plan)、実施(Do)、検証(Check)、見直し(Action)の各過程においても、町全体が関わる体制を構築し、高い実効性を確保していくため、PDCAのサイクルを実施し、その期間を1年間とします。

また、めざすべきまちの将来像を実現するため5年間で達成すべき目標として、基本目標に対する成果指標と施策に対する重要業績評価指標(Key Performance Indicator。以下「KPI」という。)を設定することとします。成果指標とKPIは、実施した事業の量(アウトプット)を測るのではなく、その結果によって得られる町民の便益による成果指標(アウトカム)を原則とし、目標を明確にすることによって、共有と成果を重視した取組を展開していきます。

なお、町内はもとより、外部有識者を含めた検証機関を設置し、庁内検証とともに客観的な外部検証による成果指標やKPIの達成度の検証と提言に加え、議会における審議なども踏まえ、必要に応じて本計画の改訂を行うなど、高い実効性を確保し続けることとします。

新ましこ未来計画におけるPDCAサイクル



■ 成果指標などの設定について

本計画の基本目標の成果指標や施策のKPIなどについては、原則として一般に公表されているものを採用します。

なお、公表までに時間を要するものについては、策定時及び検証時に公表されているものを用いることとします。